



三子一人女歌記

入利 4
2-9/16



28
~ 4
2916

小
玉
口
文
序





天智天皇

あまのつひのつらふらふは
つらふらふはつらふらふは

持統天皇

あまのつひのつらふらふは
つらふらふはつらふらふは

持統天皇

あまのつひのつらふらふは
つらふらふはつらふらふは



山邊斎人

田の原八十嶋へけりては
物一とてなむとてなりけり

中納言家持

新方ちのせはたけりては
あつたはけりては

安倍仲磨

あまの原ゆりては
いふさよふりては

泰保

和田の原八十嶋へけりては
あまの原ゆりては

猿丸

あまの原ゆりては
いふさよふりては

中納言

あまの原ゆりては
いふさよふりては

五原葉平烟片

おのころのついでに
あつたてのついでに

友原好行御札

白のころのついでに
あつたてのついでに

陽休院

あつたてのついでに
あつたてのついでに

小野小町

あつたてのついでに
あつたてのついでに

花撰法師

あつたてのついでに
あつたてのついでに

信正通帖

あつたてのついでに
あつたてのついでに

蝉丸

らぬやいのびるうらむのうらむの
きりりーぬむもあささるる

河原左大臣

陸奥の志茂姫しららり行ゆは

しら初たー初さーなかくに

光孝天皇

君さぬをのいにもあまのほむ

初らるる言さるは

伊勢

新詩さかきいふあはれ

あかしてあはれいさーいさ

元良親王

いぬれをいさるる部は

いさるるいさるるいさるる

源宗千姫

いさるるいさるるいさるる

いさるるいさるるいさるる

紀勢

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

坂と足利

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

大和の山

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

藤原真風

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

春道列樹

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

清原深玄文

あまのこゝろをさぐりてはるかに
もろくもろくをさぐりてはるかに

貞信公

小倉公の御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

三桑右大臣

名は公の御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

中納言

みのり原村の御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

泰保等

あまらふの御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

又左大臣

白鳥の御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

保右衛門

今一と云ふ事御成敗の御成敗の御成敗
今一と云ふ事御成敗の御成敗

松中納言教忠

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

平道盛

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

そせい

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

謙徳

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

中納言教忠

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

清原元輔

あはれなるは くらふくらぬは
あはれなるは くらふくらぬは

源重光

風吹くも雲の影も
くまなくあつらひの
くまなくあつらひの

曾祢好忠

中宮の御成程
し果しあつらひの
し果しあつらひの

大申長純宣

いさよの御成程
いさよの御成程
いさよの御成程

源重光

いさよの御成程
いさよの御成程
いさよの御成程

源重光

いさよの御成程
いさよの御成程
いさよの御成程

源重光

いさよの御成程
いさよの御成程
いさよの御成程

高麗の国

公を待たせられたるに
人よりおぼしむるに

三條院

に
此の御書は

儀同三司

に
公の御書は

右大臣

公の御書は

純和

公の御書は

純和

公の御書は

大納言の旨

滝のしほのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

清少納言

あつらひのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

和泉或部

あつらひのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

兼成

あつらひのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

若深清

あつらひのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

大貳三位

あつらひのささげとてくさくさぬ
あつらひのささげとてくさくさぬ

伴誓大補

いふしつたをえぬの幼きやいさか
ふよ九身しつにやひめらふ

小或内侍

ちかよひく都のしらねゆき後には
まじいゆきしんひあ方のはしる

松中物之定頼

朔朝うらめおけさるし絶くは
あつれしつらぬく此酒紋未

左京右近雅

あつれしつらぬく此酒紋未
人ほそひさしあつれしつらぬ

因幡内侍

春の暮れ多しつらぬく此酒紋未
あつれしつらぬく此酒紋未

大御之御孫

夕なれしつらぬく此酒紋未
あつれしつらぬく此酒紋未

大徳の御書

おのれはよき徳の御書に
新らしき御書に

於中國之起居

多岐乃為とるはく
御書に

祐子内親王家紀傳

善なる御書の御書に
御書に

相換

御書の御書に
御書に

源後頼朝長

御書の御書に
御書に

法隆寺金堂前書白
長

御書の御書に
御書に

竹屋門院堀河

あつらひのうらみはなほくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

竹屋門院堀河

あつらひのうらみはなほくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

左京右大臣

秋風おそふとてくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

源道昭

秋風おそふとてくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

藤原泰隆

あつらひのうらみはなほくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

道因法師

あつらひのうらみはなほくさくさ
とてはなれぬとてゆゑにさし

般首門院吏

凡世之於世也... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

式子内親王

乃何世神... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

年... 乃何世神

乃何世神... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

二條院務改

乃何世神... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

一 後京極坊政を改む

乃何世神... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

市方伝正意書

乃何世神... 乃何世神... 乃何世神... 乃何世神...

参後附經

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

後二位家隆

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

後二位家隆

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

後中納言定家

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

後鳥羽院

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

後鳥羽院

...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...
...の...の...の...の...の...

順徳院

何事やうなるのさむいおし

ちやうちやうち

ひら

か

三才女秋仙

左

小野小町

あはれぬ終くもなむらん

あはれぬ終くもなむらん

伴撥

あはれぬ終くもなむらん

あはれぬ終くもなむらん

中務

秋の夜更けの月影を照らす
まはれぬあきの月影を照らす

般若門院在陽

何れも秋の月影を照らす
うき世の月影を照らす

右四

道平の月影を照らす
まはれぬあきの月影を照らす

右大將道平母

平の月影を照らす
まはれぬあきの月影を照らす

馬内侍

平の月影を照らす
まはれぬあきの月影を照らす

右深湯門

平の月影を照らす
まはれぬあきの月影を照らす

和泉武平

法法うららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

舟宮中侍

新しきうららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

清少卿

うららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

和泉武平

うららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

花人右近

うららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

小田侍

うららむをのりよを朽けし
うららむをのりよを朽けし

小或平内侍

あぬくろの跡に...
ら...
ら...

大貳三位

ら...
ら...
ら...

一宮記伴

ら...
ら...
ら...

相模

法...
法...

ら...
ら...

ら...

右

公子内親王

ら...
ら...
ら...

後成の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

田宮の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

後成の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

後成の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

後成の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

後成の母

あつちのやうなうらやまのうらやまのうらやま

二條院秘伝

あふくしつら神し床のゆきしるよ
あつしつらあははらあつら

十侍伝

あふくしつらあつらあつらあつら
あつらあつらあつらあつらあつら

伴野人傳

あつらあつらあつらあつらあつら
あつらあつらあつらあつらあつら

土庫門院少事相

あつらあつらあつらあつらあつら
あつらあつらあつらあつらあつら

弁内侍

あつらあつらあつらあつらあつら
あつらあつらあつらあつらあつら

後鳥羽院御

あつらあつらあつらあつらあつら
あつらあつらあつらあつらあつら

後漢中興

後漢中興

少將田

八條院

後漢中興

成乾門院

後漢中興

漢門院

後漢中興

後漢中興

きなりしものし今ふかすね
みぢなをたれ乃ゆをあら

こく
兆

海晏
正人如
海晏

海晏

海晏

海晏

